

さきちゃんだより



◆発行 2016.6 新庄河川事務所 立谷沢川砂防出張所

平成28年度 立谷沢川流域砂防事業



立谷沢川上流域は荒廃が激しいため、最上川に大量の土砂が流出しており、昭和初期では酒田港が土砂で埋め尽くされると言われたほどでした。

このため、昭和12年から国直轄事業として砂防施設整備に着手し、これまで44基の砂防堰堤(※1)と、溪流保全工(※2)を整備しています。

なお、契約済みの今年度の工事は以下の5件です。

※1 砂防堰堤・・・山間部の谷や斜面から流れ出て、洪水時に河川の氾濫の元となる土砂の流出や、家や田畑を一瞬にして押し流してしまう土石流を防いでくれるのが砂防堰堤です。出水時に流れてくる土砂を防いだり減らしたりすることによって災害を防いでくれます。

※2 溪流保全工・・・川はいつも決まった場所を流れるわけではなく、右に左に方向を変えて流れるため、川岸が削られ家や田畑が流されないように、自然(生態系)に配慮し、護岸工事の整備を行い川の流れを固定し災害を防ぎます。

☆工事紹介

①立谷沢川流域東大沢砂防堰堤工事
東大沢川から土砂が流出するのを防ぐ目的で、平成23年度から着工しています。今年度は、主堰堤、副堰堤、側壁及び水叩きを施工し、年度内には全体が完成する予定です。



No.	工事名	受注者	完成予定
①	立谷沢川流域東大沢砂防堰堤工事	佐藤建設(株)	H28.11.30
②	立谷沢川流域本沢ほか整備工事	(株)柿崎工務所	H28.12.20
③	立谷沢川流域濁沢ほか整備工事	(株)柿崎工務所	H28.11.10
④	立谷沢川流域濁沢第8砂防堰堤工事	(株)柿崎工務所	H28.11.4
⑤	立谷沢川流域溪流整備工事	(株)カキザキ	H28.10.31

※安全第一で施工に当たります。

※地域のみなさまのご理解・ご協力をお願いいたします。

6月は「土砂災害防止月間」 みんなで防ごう土砂災害！

昨年も全国各地で788件もの土砂災害が発生し、特に昨年9月に発生した台風18号の大雨に伴う土砂災害は記憶に新しいところです。6月～7月の梅雨前線豪雨や夏から秋の台風による大雨によって全国各地でがけ崩れや土石流による被害が発生し、土砂災害対策の重要性が改めて認識されています。

山形県内でも5年前の5月に庄内町濁沢右岸池ノ台地区で大規模な深層崩壊が発生しました。また、昨年4月に戸沢村古口で融雪による地すべりが発見されました。このように私たちの身近なところでも土砂災害が起きています。

土砂災害にあわないためには、行政側の「知らせる努力」と住民側の「知る努力」がたいへん重要になります。事前に自分の住んでいるところの土砂災害危険箇所を、役場やインターネット、庄内町が各ご家庭に配布している「土砂災害ハザードマップ」で確認し、さらに避難場所の確認や、懐中電灯やラジオなどの防災用品を備えておくことも重要です。土砂災害警戒情報はテレビだけでなくインターネットや携帯電話からも確認できます。警報が発令されたら、早めに安全な場所に避難しましょう。

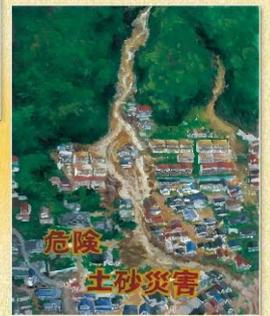
自分の住んでいる町は大丈夫と思わず、しっかりと「そのとき」に備えましょう。

みんなで防ごう土砂災害



山形県立庄内町立東海小学校5年 田村隆宏さん

日頃からハザードマップなどで避難場所や避難経路を確認しましょう。



山形県東庄内市立聖徳中学校3年 八木さくらさん

土砂災害防止月間
6/1～30
がけ崩れ防災週間 6/1～7

国土交通省・都道府県

熱中症に お気をつけください



熱中症は梅雨明け後、7月、そして特に8月に多く起こり、日本では年々増加傾向にあります。広く周知されていることですが、今一度原因と対策を整理してみましょう。

○原因

- ・前日より急に気温が上がる。
- ・気温がそれほど高くなくても湿度が高い。
- ・涼しい室内での作業から、急に外に出て作業したとき。
- ・作業日程の初日～数日間が発症しやすい。
- ・安全上薄着になることが不可能な工事現場、製造業、災害救助現場、長時間にわたる屋外でのスポーツや行動、屋内でも防具や厚手の衣類での行動。

○対策

- ・屋内では、扇風機、エアコンで温度を28℃以下に調整する。
- ・遮光カーテン、すだれ、打ち水などにより室内に侵入する熱を軽減する。
- ・通気性、吸湿性、速乾性のよい衣服の着用。
- ・危険性の高い時間帯の外出を抑制する。
- ・保冷剤、水、冷たいタオルなどで体を冷やす。
- ・水分、塩分、経口保水液などを補給する。

熱中症は、最悪の場合死に至ります。決して軽視せず万全の対策が望ましいでしょう。

「さきちゃんだより」の由来
砂防の「さ」
希望の「き」
をとり、親しみが持てるよう「さきちゃんだより」とネーミングしました！



《立谷沢川砂防出張所／砂防資料館》
〒999-6601
東田川郡庄内町狩川字堅田20-23
TEL 0234-56-2050
FAX 0234-56-2081
<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou>
立谷沢川砂防出張所ページをご覧ください

～砂防資料館～
開館日：平日のみ
(土日・祝日は閉館しておりますが、事前に予約があれば開館します。)

